



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月28日

上場会社名 株式会社 Jストリーム 上場取引所 東  
 コード番号 4308 URL <http://www.stream.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石松 俊雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹見 嘉洋 TEL 03-5765-7744  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,883	△9.1	378	△32.9	375	△33.5	228	△37.0
2022年3月期第1四半期	3,170	37.4	563	134.6	565	134.8	363	145.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 247百万円 (△36.6%) 2022年3月期第1四半期 389百万円 (162.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	9.20	—
2022年3月期第1四半期	14.62	—

(注) 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	12,368	10,228	79.8	396.72
2022年3月期	12,440	10,371	80.5	402.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,865百万円 2022年3月期 10,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,590	9.5	2,080	1.2	2,070	0.9	1,320	0.8	53.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	28,057,400株	2022年3月期	28,057,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,191,062株	2022年3月期	3,191,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	24,866,338株	2022年3月期1Q	24,866,338株

（注）2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対応が落ち着いた一方、ウクライナ情勢の悪化に伴う資源価格の高騰や、アメリカの金融引き締めに伴う円安の進行等に伴い物価高への懸念が顕在化しており、個人消費動向や企業収益における不確実性が高い状況となっております。インターネット業界においては、感染症拡大を防止しつつの事業展開や、事業の効率化が求められることから、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進の動きが企業において加速しました。イベントのハイブリッド化や各種の情報共有、研修、会議、面談のオンライン化、テレワーク等の関連サービスが注目されました。

こうした環境下、当社グループは動画ソリューション事業において、各種イベントのインターネットライブ配信や、社内情報共有・教育等のオンデマンド動画配信ニーズに対応し、主力サービスである「ライブ中継サービス」や「J-Stream Equipmedia」を中心に提供を進めました。主力である製薬業界のWEB講演会の他、バーチャル株主総会、社内情報共有の為の動画利用等の企業需要に応える営業活動を展開しました。オンラインやハイブリッドイベントの開催に関連する各種サービスを提供する企業との協業・連携をすすめ、共同して市場開拓を図るとともに、顧客企業の多様な利用シーンとニーズに応えるより高品質なサービスの開発を進めました。

販売面においては、戦略市場を、医薬業界のEVC（Enterprise Video Communication）領域、医薬以外の金融等各業種のEVC領域、放送メディア・コンテンツ業界を中心としたOTT領域と3区分して営業活動を実施しております。

EVC領域（医薬）においては、主力となるWeb講演会用途のライブ配信や、イベント実施に伴う集客や諸手配といった領域において、製薬企業のDX展開推進に伴う受注は継続しておりますが、五輪期間を避けた前倒し受注があった前年同期には及ばない結果となりました。

EVC領域（医薬以外）においては、販売促進向けの売上はコロナ禍沈静化に伴うリアルイベントの企画増に伴い前年比若干減少しましたが、金融企業向けウェブ開発案件や学会のライブ配信についての大口受注があり、売上増につながりました。バーチャル株主総会関連は、取扱件数は増加しましたが、想定には及ばない水準となりました。その他、動画による情報共有、教育関連受注が業種を問わず安定して推移した結果、この領域は前年同期を上回る推移となりました。

OTT領域においては、放送業界におけるサイト運用や関連するWEB制作業務、配信ネットワーク売上が中心となりました。放送局やコンテンツプロバイダのポータル、イベント会社からの運用を中心とした売上は伸長しましたが、前年同期における五輪周辺案件の反動減があったことと、キー局向けの大口の開発納品が当四半期においてはなかったことに伴い、前年同期に若干及ばない水準で推移しました。

費用面においては、売上連動で外注費は削減となりましたが、サービス開発体制や間接部門の充実のための従業員増に伴い労務費、人件費が増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高2,883百万円（前年同期比9.1%減）、連結営業利益378百万円（前年同期比32.9%減）、連結経常利益375百万円（前年同期比33.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益228百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は10,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は2,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加によるものであります。この結果、総資産は、12,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,140百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に流動負債その他に含まれる未払費用の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益228百万円の計上や配当金の支払372百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月27日に公表の連結業績予想から修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,290,446	7,137,600
受取手形、売掛金及び契約資産	2,429,338	2,291,111
商品及び製品	60,234	87,364
仕掛品	151,848	244,872
その他	274,455	332,885
貸倒引当金	△2,626	△1,639
流動資産合計	10,203,697	10,092,195
固定資産		
有形固定資産	561,511	610,314
無形固定資産		
のれん	221,791	200,745
ソフトウェア	1,000,961	1,017,873
その他	6,918	6,825
無形固定資産合計	1,229,671	1,225,445
投資その他の資産		
投資有価証券	105,349	105,356
繰延税金資産	97,233	73,401
その他	248,780	269,901
貸倒引当金	△6,218	△7,939
投資その他の資産合計	445,144	440,720
固定資産合計	2,236,327	2,276,479
資産合計	12,440,025	12,368,675
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	51,574	2,615
1年内返済予定の長期借入金	1,686	—
未払金	676,207	639,972
未払法人税等	356,664	110,981
賞与引当金	87,749	60,413
その他	652,361	1,062,215
流動負債合計	1,826,243	1,876,198
固定負債		
退職給付に係る負債	18,696	16,558
資産除去債務	96,243	96,356
その他	127,292	151,101
固定負債合計	242,231	264,016
負債合計	2,068,474	2,140,214
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,182,379	2,182,379
資本剰余金	3,899,515	3,899,515
利益剰余金	4,232,907	4,088,803
自己株式	△306,115	△306,115
株主資本合計	10,008,686	9,864,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	457	462
その他の包括利益累計額合計	457	462
非支配株主持分	362,406	363,415
純資産合計	10,371,550	10,228,460
負債純資産合計	12,440,025	12,368,675

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,170,434	2,883,034
売上原価	1,768,140	1,656,774
売上総利益	1,402,294	1,226,260
販売費及び一般管理費	838,473	848,175
営業利益	563,821	378,085
営業外収益		
受取利息	0	—
助成金収入	—	1,500
その他	2,364	336
営業外収益合計	2,364	1,836
営業外費用		
支払利息	1,077	885
為替差損	—	2,477
その他	24	649
営業外費用合計	1,102	4,012
経常利益	565,083	375,909
特別損失		
固定資産除却損	502	—
特別損失合計	502	—
税金等調整前四半期純利益	564,580	375,909
法人税、住民税及び事業税	153,117	104,988
法人税等調整額	21,938	23,829
法人税等合計	175,055	128,818
四半期純利益	389,524	247,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,950	18,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	363,574	228,890

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	389,524	247,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	4
その他の包括利益合計	54	4
四半期包括利益	389,579	247,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,629	228,895
非支配株主に係る四半期包括利益	25,950	18,199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。